

～下記の研究を行います～

## 『希少転移乳がんの局所及び全身療法に関する 国際共同後向きコホート研究』

【研究の主宰機関】 Federation of Asian Clinical Oncology (FACO)

【研究代表者】 井本 滋

【研究の目的】 国際共同後向きコホート研究によって希少転移乳癌における局所療法と全身療法の意義を検証します

【研究の期間】 研究許可日～2020 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

乳癌と診断されて手術を受け、2005 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日の間に希少転移乳癌を伴う再発乳癌と診断された治療を受けられた患者さん。

●利用する試料・情報の種類

試料：なし

情報：

①患者基本情報：年齢、生年月日など

②疾患情報：診断された日時、病期、再発時の状況、治療など

●外部への情報等の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

●研究組織

①研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

KSMO

Young Hyuck Im (Sungkyunkwan University School of Medicine)

Seock-Ah Im (Seoul National University)

Sung Gwe Ahn (Yonsei University College of Medicine)

Jeong Eon Lee (Sungkyunkwan University School of Medicine)

Yeon Hee Park (Sungkyunkwan University School of Medicine)

CSCO

Kun Wang (Guangdong General Hospital)

JSCO

井本 滋（杏林大学医学部）  
戸井 雅和（京都大学医学部）  
藤原 康弘（国立がん研究センター中央病院）  
二村 学（岐阜大学医学部）

②既存の情報等の提供のみを行う機関  
なし

#### 【研究の資金源】

アジア臨床腫瘍機構（Federation of Asian Clinical Oncology, FACO）

#### 【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シオアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

乳腺外科 医師 大谷陽子

研究代表者

井本 滋 杏林大学医学部附属病院乳腺外科

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

TEL: +81-422-475511 FAX: +81-422-476273

Email: imoto@ks.kyorin-u.ac.jp